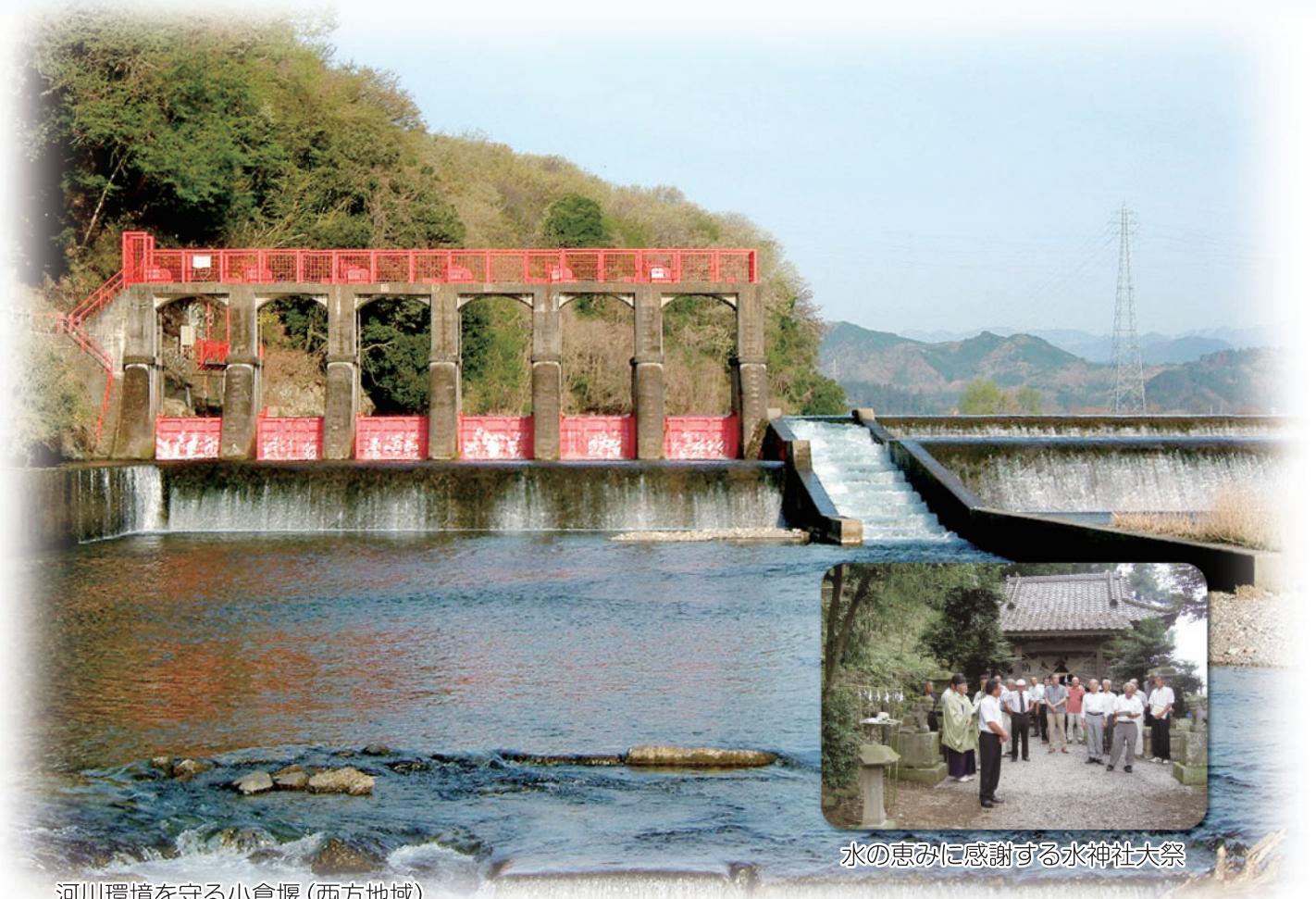


とちぎ市議会だより

第11号

2012.8.20

発行／栃木市議会 編集／議会広報紙発行特別委員会 TEL.0282-21-2253



河川環境を守る小倉堰（西方地域）

水の恵みに感謝する水神社大祭

平成24年5月臨時会は、去る5月15日に開かれ、市長の専決処分事項の承認3件、一般会計補正予算1件が上程され、いずれの議案も原案どおり承認又は可決されました。

また、平成24年6月定例会が、6月1日から21日までの21日間の会期で開催されました。

開会日には、正副議長の辞職に伴う議長選挙・副議長選挙及び各常任委員会委員等の選任等が行われました。また、議案14件が上程され、そのうち、議案（自治基本条例の制定）1件が可決され、人事案件（議会選出監査委員の選任）1件が同意されました。

一般質問は、5日から8日の4日間に18人の議員が登壇し、市政全般にわたる質問が行われました。

議案等は所管の常任委員会において詳細な審査を行い、最終日に各常任委員会の審査結果に基づき採決が行われました。議案は、いずれも原案どおり可決され、陳情1件は、継続審査となりました。

目次

正副議長 就任あいさつ	・・・2
5月臨時議会 6月定例会の 主な議案	・・・3
一般質問	・・・4～9
常任委員会 審査結果	・・・10～11
討論	・・・12
議案等審議結果	・・・13
議会のうごき	・・・14

新しい議会の構成が決定!!

議長に **高岩義祐** 議員 副議長に **大阿久岩人** 議員
 監査委員に **梅澤米満** 議員



副議長
大阿久岩人



議長
高岩義祐

就任にあたって

6月定例会、初日の6月1日に新たな議会構成が決まりました。正副議長の選挙については、本市初の所信表明会が行われ、高岩義祐氏を議長に、大阿久岩人氏を副議長にそれぞれ選出いたしました。次に、各常任委員等の選任が行われ、その後、直ちに委員会を開催し、各委員会の委員長及び副委員長を選出しました。また、議会選出監査委員に、梅澤米満氏を選任することについて、全会一致で同意しました。

このたび私たちは、6月定例会において議員各位のご推挙により、議長、副議長に就任いたしました。身に余る光栄に存じますとともに、改めてその責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。

新生栃木市誕生後2年余が経過し、現在岩舟町との合併協議が行われているところですが、拡大した市域の中で栃木市民の一体感を醸成するとともに、各地域の皆様の多様な声が市政に反映できるよう、公平公正な開かれた議会を目指し、市政発展のため誠心誠意取り組む所存であります。

また、議会の政策形成機能を十分に発揮していくために、議員一人一人が自己研鑽に努め、議会の積極的な改革を図ってまいりますので、なにとぞ、皆様方の一層のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさつといたします。

常任委員会等委員

◎委員長 ○副委員長

総務常任委員会

◎千葉正弘 ○増山敬之 渡辺照明
 高岩義祐 須田安柰 氏家 晃
 大川秀子 大武真一 大出孝幸

民生常任委員会

◎福田裕司 ○白石幹男 海老原恵子
 関口孫一郎 平池紘士 萩原 繁
 慶野昭次 内海成和 永田武志

産業教育常任委員会

◎天谷浩明 ○大島光男 鮎田 博
 入野登志子 広瀬義明 大阿久岩人
 長 芳孝 岡 賢治

建設常任委員会

◎鮎田榮一 ○中島克訓 針谷正夫
 松本喜一 福富善明 梅澤米満
 大出三夫 小堀良江

議会運営委員会

◎岡 賢治 ○入野登志子 鮎田 博
 須田安柰 福田裕司 大武真一
 関口孫一郎 永田武志

議会広報紙発行特別委員会

◎小堀良江 ○福富善明 針谷正夫
 鮎田 博 須田安柰 天谷浩明
 大島光男 永田武志

5月臨時会・6月定例会の主な議案

5月臨時会では、市長の専決処分事項の承認3件、一般会計補正予算の審議が行われました。

5月臨時会で提案された主な議案等についてお知らせします。

市長の専決処分事項の承認

平成23年度医療福祉モジュール特別会計補正予算(第2号)、税条例の一部改正、都市計画税条例の一部改正についての3つの案件です。

一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ7億2千120万5千円を増額補正するものです。

主な内容は、旧福田屋百貨店を市庁舎として整備するため土地・建物の取得等に要する事業費を新規計上するものです。

6月定例会では、補正予算1件、条例制定1件、条例の一部改正7件、工事請負契約の締結1件、人事案件1件、その他の案件3件、陳情1件の審議が行われました。

6月定例会で提案された主な議案等についてお知らせします。

自治基本条例の制定

市民を中心としたまちづくり及び市政運営を実現するため、自治の基本理念及び基本原則、行政運営の原則等を定めた市の自治の最高規範として、制定するものです。

市役所の位置を定める条例の一部改正

旧福田屋百貨店栃木店を市庁舎として利用することに伴い、市役所の位置が変更となるため、条例を改正するものです。

税条例の一部改正

地方税法の一部改正に伴い、条例を改正するもので、改正の概要については、次のとおりです。

- ① 公的年金等に係る所得以外の所得を有しなかった者が控除を受ける場合において、申請書の提出が必要とされる控除から寡婦(寡夫)控除を除くこと。
- ② 東日本大震災に係る被災居住用財産の敷地に係る譲渡期限の延長の特例を設けること。
- ③ 東日本大震災に係る住宅借入金等特別税額控除の適用期限について地方税法の改正に伴う引用条項の整理を行うこと。

印鑑条例の一部改正

外国人登録制度の廃止に伴い、条例を改正するもの

で、改正の概要については、次のとおりです。

- ① 外国人登録法に関する事項を削ること。
- ② 外国人住民の通称及び非漢字圏外国人のカタカナ表記について加えること。

市立学校設置条例の一部改正

寺尾地区統合小施設整備基本計画に基づく小学校の再編に伴い、条例を改正するもので、改正の概要については、次のとおりです。

- 寺尾中央小学校及び寺尾南小学校を廃止し、新たに寺尾小学校を設置すること。



寺尾南小学校

工事請負契約の締結 (大宮北小学校校舎増築工事)

大宮北小学校校舎増築工事の請負契約を落札業者と締結するというものです。
契約の相手方
株式会社荒川建設
契約金額
2億4千570万円

工事概要

校舎 鉄筋コンクリート造 4F
延床面積1千699・08㎡
倉庫 プレハブ造平屋建 延床面積39・74㎡

財産の取得 (旧福田屋百貨店跡地等)

市役所市庁舎用地及び建物を買入れ入るものです。
取得相手
株式会社福田屋百貨店

取得予定価格

6億4千500万円

取得財産

信託受益権

不動産

取得方法

随意契約による買入れ

市政に対する一般質問

福田 裕司 議員
栃木創志会

○通学路安全対策について
○新公共交通の運行評価について

通学路の危険箇所と対策は

通学路の安全を確保するためには、通学路の現状を把握し定期的な点検をして、適切な措置を講じる必要とが不可欠となるが、危険箇所の把握状況を伺う。
また、自動車交通の抑制としての、交通静穏化対策の取り組み状況を伺う。

答弁 牧田教育次長

安全確保に関する情報の把握に努めている

教育委員会では、毎年1回、市内の通学路の安全点検を実施し、通学路に潜む危険を把握し直すことをしている。5月に実施した安全点検では、市内の小中学校全40校から、交通や防犯等に係る危険箇所計338件に

についても報告及び対応策の提案を受けている。

また、学校では、随時保護者等からの聞き取りや児童生徒アンケートの実施等で安全確保に関する情報の把握に努めている。

また、交通静穏化対策については、歩行者の安全確保の上で効果的な手段ではあるが、路上に、ある種の障害物を設置することになるので、回避操作による接触事故や振動騒音等の問題も考えられる。このようなことから、一律的な整備計画はないが、設置に当たっては地域住民の理解が欠かせないことから、個別に検討していく考えである。

長 芳孝 議員
黎明

○斎場の建設について
○旧福田屋百貨店の活用について
○栃木蔵の街「秋まつり」について
○農業振興について

栃木市斎場の建設は

岩舟町との合併協議が進み、また、今後は少子高齢化が急速に進むと思われるが、古くて狭い栃木市斎場の建設について市長の考えを伺う。

答弁 鈴木市長

「新火葬場整備基本構想並びに基本計画」を策定予定

本市の斎場は、築33年が経過し老朽化が進み、合併や高齢化社会の到来による大幅な利用件数の増加や市民の多様なニーズには、対応困難になりつつある状況から、斎場再整備は喫緊の重要課題と認識している。

そのため、今年度は当計画の第1段階として、「新火葬場整備基本構想並びに基本計画」を策定していく予定である。

また、完了までには年数を要することから、当面は安定的に現在の火葬場を維持するために平成25年度には、劣化した火葬炉5基の積替えを予定している。



現在の栃木市斎場

入野 登志子 議員
公明党議員会

○高齢者等のごみ回収について
○救急医療情報「命のカプセル」の導入について
○子宮頸がんワクチン予防接種について

ごみ出しが困難な方々への対応は

高齢者の方や、障がいのある方にとっては、私達が何気ない日常の中で行っている些細なことでも不便をきたしていることが多くあると思う。

旧栃木市では、平成16・17年の議会で高齢者世帯等に配慮したごみ収集対策に

答弁 川津生活環境部長

調査により現状を把握したうえで検討をしていく

旧栃木市において実施した高齢者等のごみ出し実態調査によると、当時の対象者については、別居の家族や知人等の支援によりごみ出しが行われており、行政の支援は必要がないとのことであった。

しかし、調査実施から年数も経過し、また、合併により地域が広がったことにより、当時とは状況が変化していると考えられる。

今後は、関係各課と協議を行い、再度全地域を対象とした実態調査を実施し、現状を把握した上で、戸別訪問でのごみ回収をどのようにすべきかを検討していきたいと考えている。

広瀬 義明 議員
大樹

- 医療費助成制度について
- 大平中学校の耐震について

耐震化の今後の予定は

大平中学校の耐震二次診断の結果を聞き、あまりに低い数値結果に愕然とした。

いつ来るか分からない災害において、大平中学校は通常使用する階段以外に避難経路がなく、唯一の避難経路である階段が瓦礫等で塞がれたら生徒は教室から逃げ出せなくなるかもしれない。地域住民を代表して一日でも早い計画策定を望むが市長の見解を伺う。

答弁 鈴木市長

出来るだけ早い時期に、校舎を改築する方向で進めていきたい

結論から言うと、もう改築しかないと思うので、出来るだけ早い時期に、校舎を改築する方向で進めていきたいと考えている。



改築が待たれる大平中学校

鮎田 栄一 議員
新誠会

- 無作為抽出による各種委員の選任について
- 斎場再整備計画について
- 市有霊柩バスの遠距離利用者に対する利用制限を廃止すべきでは

無作為抽出による各種委員を選任してはいいかがか

市では各種委員会の委員の選任や、新たな委員会設置のために多くの部署において、公募による委員を募集しているが、無作為抽出の方法により各種委員会に参加する市民を選出すれば、従来の手法と比較して、行政に届きにくい「声なき市民の声」を明確にできるメリットがあると思うので積極的にこの制度を導入してはいいかが市長の考えを伺う。

答弁 鈴木市長

先進地の事例等を、研究していく

無作為抽出による委員の選出方法は栃木青年会議所が行っている市民協議会において既に実施しておりこの方法を取り入れ1000人に通知を出したところ承諾された方は3%ということであった。

市においてもこの方式を導入してみる価値はあるかと思うが、少し検討しなくてはならない部分もある。突然市から通知が来て受け取った市民の方達の色々な反応を考えると、その辺りは今後研究しなければならぬと思うので、先進地の事例等を研究してみたいと思う。

氏家 晃 議員
曙光

- 豊かな観光資源を活かした観光振興施策について
- 青少年健全育成について
- 市内小中学校施設の耐震化計画について

グリーンツーリズムでの観光振興を

都賀地域には、つがの里やカタクリの里などの花の名所があり、大柿地区ではホテル、山里や田園風景などの自然が豊富にある。

答弁 鈴木市長

地元組織の立ち上げに着手した

つがの里周辺の白久保と大柿エリアは、県の「とちぎふるさと田園風景百選」にも選ばれたほどの、田園地帯であり当地域はグリーンツーリズム事業に取り組むための条件が整っている



大柿地区の田園風景

ものと考えている。しかし、事業を進めるには事業主体となる地元の組織を確立し、どんな事業を実施するのかを検討し、地域全体が一体となり取り組む必要があるため、大柿地区において事業主体となる組織の立ち上げに着手したところである。今後は、先進地の事例研究会等を開催し、地域資源の確認等を通じて、共通認識の醸成を図っていききたいと考えている。

萩原 繁 議員
曙 光

- 栃木市の防災対策について
- ゆとり教育の見直し・通学路の安全性の見直しを
- 渡良瀬遊水地について

遊水地内の放射能汚染状況及び、安全性の公表を

バルーンレース開催時に放射能汚染の安全性の問い合わせがあった。今後夏休みシーズンになるので、早急に、運動公園、ハート池そして遊水地で獲れる魚等の汚染状況、安全性を市民に公表してもらいたい。

答弁 藤田危機管理監

市・県のホームページで公表されており安全性が確認されている

渡良瀬遊水地では、藤岡渡良瀬運動公園で月に1回、運動公園内16カ所の地点で、地上5cm、50cm、1mの高さで空間放射線量を測定して市のホームページで公表している。最近の空間放

射線量は毎時0.072マイクロシーベルトから0.132マイクロシーベルトとなっており、放射性物質汚染対処特措法に基づく汚染状況重点調査地域の基準である毎時0.23マイクロシーベルト未満である。

また、谷中湖の魚の状況は、月に1回フナのみモニタリング検査が県により行われており、検査結果は県のホームページで公表されており、5月14日の結果は、放射性セシウムが1kg当たり16ベクレルであり、一般食品の放射性物質の基準値の1kg当たり100ベクレル未満となっており、安全性が確認されている。



藤岡渡良瀬運動公園

渡辺 照明 議員
新 誠 会

- つがの里運営について
- 都賀インター周辺の進捗状況は
- 二元代表制について

都賀インター周辺の進捗状況は

都賀インター周辺での、土地の売買取引等の話を聞いたが、現在の進捗状況を伺う。

答弁 小島産業振興部長

昨年、企業から立地に関する相談があり、現在も支援を行っている

本地区は、都賀インターに隣接し、かつ良質で豊富な地下水の利用が可能なことから、物流関係の企業や、食品関連の製造業の立地に適した地域と考えている。また、昨年、市内の食品製造関係の企業から立地に関する相談があり、現在も、農地法、都市計画法、建築基準法等の関係法令で求められる事務手続きが円滑に進められるよう支援しているところである。



都賀インターチェンジ周辺

増山 敬之 議員
大 樹

- 保育行政について
- 通学路の安全対策について
- こども医療費助成制度について
- 消防力の充実について

保育所整備計画策定の進捗状況と基本的な考えは

最近、整備計画の素案が示され具体的な検討が始まったと聞いているが、現在の計画策定の進捗状況と計画を進めていく上での市長の基本的な考えを伺う。

答弁 鈴木市長

意見が整ったものから、整備に着手していきたい

本計画の策定については素案を民生常任委員研究会に提示したところである。素案においては、大きく4つの基本的な整備に関する考え方を提案している。1つ目は、栃木地域の老朽化している2つの公立保育所を公立のまま統合し、新たな場所に設置する。2つ目は、老朽化している栃木地域と大平地域の公立保育所を統合し、民営化する。3つ目は、藤岡地域にある4つの公立保育所が老朽化し、いずれも定員に満たないことから、1つ若しくは、2つに統合する。4つ目は、栃木地域北部から都賀地域南部の範囲内に、新たな保育所を設置する。こうした提案を基に、民生常任委員会をはじめ議会の中で議論いただくとともに、社会福祉施策推進委員会においても議論してもらい、この2つの検討結果を基に、地域の皆様の意見等を伺い、意見の整ったものから、なるべく早く、整備に着手していきたいと考えている。

天谷 浩明 議員
改革栃木

- 空き地・空家対策について
- 農業の振興について
- 公共交通について
- (仮称)災害支援特区について
- 行政組織のあり方について

市における空き地・空家への対応は

全国では、居住に對しての空き地・空家比率は16%となっており、本市においても例外ではないと思う。建物に人が住んでいない管理されていない、土地が荒れていて手がつけられない等その状況に對して、近隣・周辺の方々が不安や危険を感じて生活している。このような場所が多々あり、社会現象にもなっているが、市の対応を伺う。

答弁 川津生活環境部長

適切な維持管理に努めるよう指導していきたい。空き地については、所有者が管理することになってゐるため、現地調査後、所

有者を確認し、文書等により適正管理をお願いしている。中には長期化するケースもあるが、粘り強く交渉を行っている。

空家については建築基準法に基づき、老朽化等による倒壊、屋根瓦等の落下など、周囲に危険性のある建築物については、現地を確認し、所有者、管理者等に対し改善を図るよう指導を行っている。

今後とも所有者等に対し適切な維持管理に努めるよう指導していきたい。

岡 賢治 議員
大樹

- 墓地の整備について
- 健康診断の普及啓発について
- 美術品を活用したまちづくりについて

まちづくりで歌麿の作品を活用しては

世界に約40点あまりしかないと言われる喜多川歌麿の肉筆画のうち「女達磨図」「鐘馗図」「三福神の相撲図」の3点が本市で発

見され、今後「品川の月」の複製画が完成するとさらに話題が高まると予想されるが、このような美術品をまちづくりに活用する考えはあるか市長の見解を伺う。

答弁 鈴木市長

活用について知恵を出し合っていきたい

本市が所蔵する歌麿の貴重な作品については、まずは多くの市民の方に見てもらい、存在を知ってもらうことにより、市民としての誇りを感じていただければ、ありがたいと思う。また、観光客に対する市のアピールをしていく上でも歌麿の存在は大変大きいと思う。栃木市には何があるのと聞かれた時に歌麿と一言で言い表せるものがあることは大いに売りになると思う。

いずれにしても市にとって歌麿の存在は大変大きなものであり、今後皆でどのように活かしていくか知恵を出し合っていきたいと考えている。



喜多川歌麿の女達磨図

針谷 正夫 議員
黎明

- シビックコアについて
- 市民をあげて読書推進はできないか
- 小さな地域における日常の世代間交流について

シビックコアの現状と展望は

市長は、「過去の議会において、税務署・ハローワークの合同庁舎早期着工を国に要望したが、概算要望には織り込まれなかった。」と答弁している。しかし、一方で市に国の機関はいてもらわなければ困るという強い決意もみられることから、市民にとっても大切な事業と考える。

シビックコアの現状と今後の展望について伺う。

答弁 鈴木市長

国の動向を注視しながら協議を進めていく

平成16年に国の同意を受けた「栃木市シビックコア地区整備計画」の合同庁舎については、現在、税務署とハローワークの2つの官署となっている。また、ハローワークについては、国において、今後、県などへ一部試験的に業務が移譲されることも考えられる。

また、昨年発生した東日本大震災で被災した官庁施設の復旧を最優先しているため、計画が見送られている状態にある。

今後は、国の動向を注視しながら、協議を進めていきたいと考えるが、本年度、市有地及び市内における土地などの有効活用への検討を推進するため、まちなか土地利用推進室を組織したので、国との協議の結果によつては、どちらかの決断をせざるを得ない状況になる可能性もあると考える。

福富 善明 議員
大 樹

○公共工事の栃木市内の業者の対応は

○栃木市内の産業団地の雇用は何人確保できるか

市内業者の育成に努めてもらいたい

入札共通事項には、地元業者育成の観点から下請け工事、施工に必要な資材や建設機械等の購入及びリースは、可能な限り市内の業者へ発注すると明記されている。元請業者も市内に本社がある業者と明記して、業者育成に努めてもらいたい。市長の考えを伺う。

答弁 鈴木市長

市内業者を優先とした発注となるような制度を構築

本市の入札及び契約については合併時の平成22年度に入札方法等制度の一元化を、また平成23年度には入札に参加できる格付の統一と地域要件拡大の運用方法を設定したが、平成23年度の入札については、すべて

この方法により執行した。

結果としては、特殊な工事で市内に登録のある業者が少ない案件を除き、発注の大半を占める一般的な工事については、おおむね市内の業者が受注している状態である。

なお、平成25年が業者登録・格付の更新年度となるため、新たな格付け、地域要件の運用を検討する中で市内業者を優先とした発注となるような制度を構築し公共工事の発注を通じた地域経済の活性化と工事の品質向上に努めていきたい。

白石 幹男 議員
無会派

○オリン冕電社工場跡地購入問題について

○大震災原発事故への対応

○福祉タクシーについて

○渡良瀬遊水地のラムサール条約湿地登録への対応

福祉タクシー利用券の枚数削減の理由は

今年度から、福祉タクシー利用券が大幅に削減され、多くの市民の方から不

満の声が寄せられているが、削減するに至った理由について伺う。

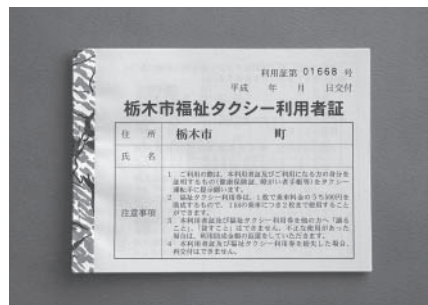
答弁 飯塚保健福祉部長

利用しやすい外出支援策としての制度に改正

昨年の10月から、市民の更なる外出支援策として、デマンドタクシー・蔵タクの運行が開始された。デマンドタクシーは、ドア・ツリー・ドアで目的地に行くことができるといった利便性や、片道300円、障がい者の方は150円で市内の移動ができるうえ、福祉車両も用意している。その利用が浸透している。福祉タクシーの利用は減っていくことが予想されることから、デマンドタクシー周知期間後、福祉タクシー利用券は全廃の方向で検討していた。

しかし、デマンドタクシーは運行しない曜日、時間帯があることなどから、高齢者等の方へのきめ細かなサービス提供の福祉的観点から、交付枚数は縮小したが、福祉タクシー料助成事業は存続することにした。

また、交付枚数の削減だけでなく、利用者からの意見を参考に利用しやすい制度に改正をした。



福祉タクシー利用券

千葉 正弘 議員
栃木創志会

○鈴木市長の2年間の市政運営の自己評価は

○旧福田屋百貨店の庁舎利用について

庁舎利用までの流れは

旧福田屋百貨店の庁舎として利用するまでの流れの説明を求める。

答弁 赤羽根総合政策部長

平成26年2月には、開庁したい

本年9月頃には基本設計を作成して、12月には、改修工事に必要な実施設計を完了させ、この実施設計に基づき、12月定例市議会に改修工事費の補正予算を提出したいと考えている。

その後、平成25年3月定例市議会において、工事契約の議決をいただき、それを受けて、平成25年4月当初から、実質的な改修工事を着手し、平成26年1月末を目途に完成させ、同年2月には新たな市庁舎として開庁したい考えである。



旧福田屋百貨店の屋上からの市役所周辺

大武 真一 議員
改革 栃木

○監査委員の指導、あり様について。市長の対応、事務局員の異動について
○栃木市への企業誘致について。千塚町上川原地区計画の方針、誘致戦略

企業誘致の取り組みと今後の展開は

国内の企業立地件数は年々減少し、大変厳しい環境の中で、市はどのような方針、戦略で企業誘致に取り組んでいるのか、また、今後どのような方向でいくのか、執行部の考えを伺う。

答弁 小島産業振興部長

企業への積極的なアプローチを図る

企業誘致の推進は、産業の振興、雇用の確保、市税増収等の財源涵養を図るための重要な施策と考えているため、工場等の増設や移転など、企業の設備投資に関する情報収集に努め、企業訪問や、企業立地促進条例に基づく支援制度などをアピールしながら、積極的

に取り組んでいる。

方策については、設備投資に関する情報収集が最も重要と考え、市内の企業を定期的に訪問し、関連企業等の紹介をいただくなど、積極的な対応を図ると共に、栃木県東京事務所との連携を密にし、より多く、より早い情報収集をしていきたい。

また、今後、分譲予定の千塚町上川原地区の開発に關しては、約30haの造成を予定していることから早期の分譲完了を目指すためには、大規模な面積での立地が望ましく、大手企業への積極的なアプローチが重要になると考えている。

小堀 良江 議員
曙光

- 水道ビジョン策定について
- 寺尾地区水道整備について
- 河川公園について
- 道路整備計画について
- 放射能汚染対策について

今後の水辺の楽校のあり方を問う

寺尾地区には河川公園として、水辺の楽校が2カ所整備されているが、昨年の台風15号により尻内地区の水辺の楽校は河川の増水により土砂等が堆積してしまい、現在もその状態になっていている。今後の対応及び水辺の楽校のあり方について見解を伺う。

答弁 佐藤都市建設部長

県と協議を図っていく

昨年の台風により、芝生部分に被害を受け水辺の楽校としての機能が低下し、また、地元の皆様の美化活動も困難になっていることから、堆積土砂の除去については、河川管理者の県と協議していく考えである。

また、水辺の楽校については、登録を受けて約10年が経過していることから、より使いやすい、より管理しやすいものにするために見直しをしていきたい。今後は、地域の皆様等と話し合いをした上で、やはり県と協議を図っていききたいと考えている。



水辺の楽校

内海 成和 議員
改革 栃木

- オリン電社問題のその後について
- 自然エネルギー省エネ設備導入について
- 未登記地問題について

新庁舎にコジェネレーション設備を導入してはどうか

新庁舎の移転先である旧福田屋百貨店は災害時には災害本部が置かれると思うが、その際には、自家発電設備に再生可能エネルギーの設備を導入すべきではないかと考える。

最近では、石油の埋蔵量がピークに達していると言われおり、今後は減少に伴い石油の価格が上昇していくと予想される。

そこで、今後、石油に替わるものは天然ガスと言われているが、本市においても時代を先取りしたものを導入していくべきではと考え発電に使用した熱を再利用するコジェネレーション設備を導入してはどうか提案をするが見解を伺う。

答弁 鈴木市長

今後の設計や、積算の中で検討

庁舎移転先となる旧福田屋百貨店の冷暖房設備には、天然ガスを使用した省エネ設備が既に設置してある。

しかし、コジェネレーションシステムにある発電能力がないことから、設置するにあたりどれくらい費用が必要なのかは、今後の設計や積算の中で検討していきたいと考えている。

常任委員会審査結果

総務常任委員会

日付 6月11日(月)
場所 藤岡文化会館

○付託議案

一般会計補正予算のうち所管する事項、市役所の位置を定める条例など条例の一部改正2件、財産の取得(旧福田屋百貨店)など2件、陳情1件

○審査結果

議案は、いずれも討論なく全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。陳情は、継続審査とすべきものと決定した。

○質疑応答

一般会計補正予算

質 先導的官民連携支援委託事業費の事業効果は

答 太平山の有効活用を図ること、一定の効果が得られると考えている。

質 (仮称)渡良瀬遊水地フェスティバルの運営内容は

答 渡良瀬遊水地内及び周辺で日常的に楽しまれてい

るアウトドア・スポーツを市民等に提供し、市内の観光物産のPR活動を計画している。

質 市役所の位置を定める条例の一部改正

質 期日までに、どのような作業量が発生するのか

答 基本設計、実施設計を本年12月までに終了し、工事は、平成25年12月までとし、その後、電算関係の配線等整備を行い、平成26年2月10日に開庁したい。



新庁舎となる旧福田屋百貨店

財産の取得(消防ポンプ車)

質 高い落札率の理由は

答 予定価格自体が切り詰めた価格を設定しているためと考えている。

質 「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書提出を求める陳情

意見 法を整備していくことは当然であるが、少し勉強し、議論をするためにも継続審査とすべきである。

意見 国民の生命財産等を脅かす事態が発生していることを加味し、早期に作られたほうがよい。今回は継続審査であっても、早急に結論を出すべきである。

民生常任委員会

日付 6月12日(火)
場所 藤岡文化会館

○付託議案

一般会計補正予算のうち所管する事項、印鑑条例など条例の一部改正3件

○審査結果

議案は、いずれも討論なく全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

○質疑応答
一般会計補正予算

質 発達障がい者等相談支援事業費に関し、正職員の退職に伴い、なぜ正職員ではなく、臨時職員を雇用するのか

答 退職の申し出が年末にあり、正職員の補充が難しいタイミングであったことから、職員課と協議し、非正規職員を雇用する方向となった。

質 安心子ども特別対策事業費補助金の内容は

答 所得の審査機能の新設等、児童手当の一部改正に伴うプログラムの改修費に対する補助金である。

印鑑条例の一部改正

質 今までも利便性が良くなる面があるのか

答 今まで手続きは市役所と、入国管理事務所都宮出張所の2カ所であったが、今後は市から入国管理事務所へデータを送ることができると利便性が高まる。

質 現在の外国人登録者数は

答 5月末日で1903名で、そのうち、適法に在住できず、基本台帳に載らないと見込まれる方が約40名いる。

質 住民基本台帳に載らない場合、市民サービスは受けられるのか

答 住民サービスを受けられなくなる一面もあり、印鑑登録については資格がなくなる。

国民健康保険条例の一部改正

質 被災地から避難し、転入した方は特例の該当になるのか

答 住居が震災で滅失して住めなくなり、その土地を譲渡して本市に転入した時には該当になる。

災害見舞金条例の一部改正

質 災害見舞金の支給件数は

答 平成23年度の実績は14件、41万5千円であった。また、平成22年度の実績は18件、58万円程であり、概ね15件前後で推移している。また、外国人に関しては、旧栃木市で平成19年に1件対象となる事例があった。

産業教育常任委員会

日時 6月13日(水)
場所 藤岡文化会館

○付託議案

一般会計補正予算のうち所管する事項、学校設置条例など条例の一部改正2件、工事請負契約の締結1件

○審査結果

議案は、いずれも討論なく全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

○質疑応答

一般会計補正予算

質 がんばろう「とちぎの農業」緊急支援資金利子補給費補助金の補正は当初予算の不足によるものか

答 当初、県では平成23年度完了で計画していたが、平成24年度まで貸付が出来るようになったため補正するものである。

質 がかしの里管理事業費及び藤岡富吉集会所管理費の盗難にあつた空調室外機の室外機のみと、エアコン全体の費用の比較検討は

答 全体の金額の半額の費用で済むので室外機のみので交換が良いと思われる。

質 今後の室外機盗難防止策は

答 金網だけでなくアンダールで完全に囲んで取り外しに時間がかかるような防護柵を考えている。

質 図書館資料購入費(西方)の購入内訳は

答 一般図書600冊、児童図書400冊、参考図書数冊の予定である。

質 図書購入時には、市の図書館の貸し出しデータを基に、購入するののか

答 蔵書配分率、収集基準は、今後、各図書館で統一して、それぞれの独自性を持った購入配分等を工夫しながら購入していく予定である。

質 文化補助金「歌麿まつり」の事業内容は

答 実行委員会を設立して10月に2週間程度実施予定である。

質 農業体質強化基盤整備促進事業費(栃木)の事業内容は

答 国府土地改良区と栃木市東部土地改良区については、ポンプの改修や水路の改修等の工事である。

質 科学する心を育む推進事業のPR方法は

答 ポスター等により周知すると共に子供に興味を湧くように学校を中心にPR活動を考えている。

工事請負契約の締結(大宮北小学校校舎増築工事)

質 入札参加者の数は

答 13社である。

質 落札率はどれくらいか

答 94.74パーセントである。

質 最低価格は

答 2億5百33万円である。



増築される大宮北小学校

建設常任委員会

日時 6月14日(木)
場所 藤岡文化会館

○付託議案

一般会計補正予算のうち所管する事項、工事委託契約の締結1件

○審査結果

議案は、いずれも討論なく全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

○質疑応答

一般会計補正予算

質 工事予定箇所の落石確認件数は

答 4月14日と6月11日の2回、地域住民による通報により確認している。

質 今後の予定は

答 本補正予算成立後、業者選定を行い、8月中旬に契約をし、その後2ヵ月程度の工期を予定している。

工事委託契約の締結(市道O157号線改築工事)

質 入札方法は

答 条件付きの一般競争入札の予定である。

質 今までの工事の受注業者は

答 跨線橋下部工東側が館野建設、西側が大木組で受注している。

質 区間の開通時期は

答 不測の事態があり、当初予定より若干遅れて平成25年度予定である。

質 地盤が軟弱と思われるがその対策は

答 路床の置き換えを80cmの深さで予定している。

質 信号設置の協議は行っているか

答 現在、警察と交差点協議を進めている。



改築工事中の市道O157号線

討論

本会議において、各党派等の議員が、賛成・反対の意見を述べ他の議員の賛同を求めました。

5月臨時会

専決処分事項

- ・税条例の一部改正
- ・都市計画税の一部改正

反対

白石 幹男 議員
無党派

今回の条例改正に伴い、固定資産税・都市計画税の負担増の世帯が出るということは認められない。

固定資産税・都市計画税については、1992年の国の通達で、評価額を取引価格に近付けるために、地価公示価格の2/3割程度だったものを一気に7割水準に引き上げたために、評価額が全国平均で3.5倍となった。激変緩和措置として、負担調整措置が設けられたが、その結果として、地価が下落しているのに税負担が増えるという矛盾も生じており、市民からも疑問や不満が出ていることから反対する。

6月定例会

自治基本条例の制定

反対

慶野 昭次 議員
新生会

自治基本条例の素案の内容を見てみると、不的確な表現が多々見受けられ、多くの市民の方から、もう少し議論を深めたほうが良いのではという意見をいただいている。

また、市民の方から、陳情も提出されていることから、今すぐ決めるということではなく、継続審議として、議論してから再度検討をしていくべきと考えているので反対をする。

工事請負契約の締結

(大宮北小学校校舎増築工事)

反対

大武 真一 議員
改革栃木

増築工事の前に、大宮北小近辺の生徒数の減少に悩む小学校の学区の変更、小規模特認校制度の実施等の対策をとるべきで、増築は

最後の手段と考える。

また、契約のあり方について、入札に13社が参加し、最低落札率が94%、最高が98.7%であり、金額に換算すると97万円である。2億円を超える工事契約で技術力等がそれぞれ異なる各会社において13社がひしめき合っている状態は大いに疑問を感じることから、反対する。

賛成

小堀 良江 議員
曙光

今回の入札は、事前審査型条件付き一般競争入札で実施をし、予定価格等が事前に公表されており、落札率94.7%は妥当な率と思われる。また、落札業者は適正な参加資格を有しており契約者として問題がないと判断する。

さらに、見積価格を算出するには設計仕様を基にパソコンに様々な条件を入力するだけで、容易に予定価格を算出できるソフトが開発されており、入札参加者間の工事請負金額に大きな差異はないようである。以上のことから賛成するものである。

・「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書提出を求める陳情

継続審査とすることに反対

白石 幹男 議員 無党派

東日本大震災による初動体制の遅れを指摘して緊急事態基本法の制定を求めているが、自然災害や原発事故の放射能被害への対応は現行法の下で災害対策基本法等が制定されており、法整備がなかったからではなく、国会の初動対応の遅れが、被害を拡大させたということを指摘する。

また、緊急事態基本法は外国やテロリストからの武力攻撃等有事の対応において憲法9条を踏みにじるものである。憲法9条は戦争で尊い命を奪われたことを教訓にして憲法に盛り込まれ、外国からの武力攻撃等の有事に際しては、憲法9条に基づいて、あくまでも平和的外交努力を粘り強く行い、武力等で排除するものではないことから即不採択にするべきである。

本会議の映像を配信しています。

議会の本会議の様子を、インターネットで配信しています。平成22年12月定例会の映像から見る事ができますので、ぜひご覧ください。

※映像の見方

- ① 栃木市のホームページを開く。
- ② 左側にある栃木市議会の文字をクリック(議会のページへと移ります。)
- ③ インターネット議会中継の文字をクリック(議会放映のページへ移ります。)



審議を行いました議案等の審議結果は以下のとおりです。

○…賛成 ●…反対

5月臨時議会に付された案件等

議案番号・議案名	採決結果	針谷正夫(黎明)	鮎田博(新誠会)	鮎田榮一(新誠会)	白石幹男(無会派)	渡辺照明(新誠会)	高岩義祐(無会派)	海老原恵子(大樹)	松本喜一(大樹)	増山敬之(大樹)	須田安柝(新生活)	入野登志子(公明党議員会)	福富善明(大樹)	瓜瀬義明(大樹)	氏家晃(曙光)	福田裕司(栃木創志会)	大阿久岩人(無会派)	大川秀子(黎明)	天谷浩明(改革栃木)	梅澤米満(黎明)	大島光男(栃木創志会)	長芳孝(黎明)	大武真一(改革栃木)	中島克訓(曙光)	関口孫一郎(黎明)	平池紘士(黎明)	千葉正弘(栃木創志会)	大出三夫(曙光)	萩原繁(曙光)	慶野昭次(新生活)	内海成和(改革栃木)	小堀良江(曙光)	大出孝幸(公明党議員会)	岡賢治(大樹)	永田武志(曙光)			
専決処分の承認 56号 医療福祉7-1特別会計補正予算(第2号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
57号 税条例の一部改正	承認	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
58号 都市計画税条例の一部改正	承認	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
59号 一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

6月定例会に付された案件等

議案番号	議案名	採決結果	針谷正夫(黎明)	鮎田博(新誠会)	鮎田榮一(新誠会)	白石幹男(無会派)	渡辺照明(新誠会)	高岩義祐(無会派)	海老原恵子(大樹)	松本喜一(大樹)	増山敬之(大樹)	須田安柝(新生活)	入野登志子(公明党議員会)	福富善明(大樹)	瓜瀬義明(大樹)	氏家晃(曙光)	福田裕司(栃木創志会)	大阿久岩人(無会派)	大川秀子(黎明)	天谷浩明(改革栃木)	梅澤米満(黎明)	大島光男(栃木創志会)	長芳孝(黎明)	大武真一(改革栃木)	中島克訓(曙光)	関口孫一郎(黎明)	平池紘士(黎明)	千葉正弘(栃木創志会)	大出三夫(曙光)	萩原繁(曙光)	慶野昭次(新生活)	内海成和(改革栃木)	小堀良江(曙光)	大出孝幸(公明党議員会)	岡賢治(大樹)	永田武志(曙光)			
60号	一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
61号	自治基本条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
62号	市役所の位置を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
63号	税条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
64号	印鑑条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
65号	国民健康保険税条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
66号	災害見舞金条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
67号	市立学校設置条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
68号	市立学校給食共同調理場条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
69号	工事請負契約の締結(大宮北小学校舎増築)	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
70号	工事委託契約の締結(市道0157号線)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
71号	財産の取得(消防ポンプ自動車)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
72号	財産の取得(旧福田屋百貨店)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
73号	監査委員の選任同意	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情3号	緊急事態基本法の早期制定を求める意見書提出を求める陳情	継続	○	○	○	●	○	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※62号 市役所の位置を定める条例の一部改正については、地方自治法第4条第3項の規定に伴い採決には議長も加わります。

※緊急事態基本法の早期制定を求める意見書提出を求める陳情については、継続審査とすることについての賛否になります。

※◆=議長のため採決には加わらない。

※会派名につきましては、平成24年6月15日現在の会派名を記載してあります。

議場コンサート

6月定例会の議場コンサートは、6月5日(火)に、前田みねりさんのヴァイオリンの演奏が行われました。

前田さんは、大平町生まれで、4歳からヴァイオリンを始め、国立音楽大学器楽科ヴァイオリン専攻卒業後、現在は、オーケストラ・ソロ演奏の他、映画・ドラマ・CM等の収録にも参加しています。

議場コンサートでは「ガボット」・「ふるさと」他、計5曲の演奏が披露されました。



議会報告会開催のお知らせ

市議会では、今年度も10月15日から議会基本条例に基づく議会報告会の開催を予定しております。

【報告会日程】開催時間は全日とも午後7時～午後9時まで。

開催日	開催会場	地域
10月15日 月	皆川公民館	栃木地域
	木コミュニティセンター	都賀地域
10月16日 火	三鴨地区公民館	藤岡地域
	都賀文化会館(ハートホール)	都賀地域
10月17日 水	国府公民館	栃木地域
	赤麻地区公民館	藤岡地域
10月18日 木	第5地区コミュニティセンター	栃木地域
	西方公民館	西方地域
10月19日 金	第4地区コミュニティセンター	栃木地域
	真名子夢ホール	西方地域
10月29日 月	大平西地区公民館	大平地域
10月30日 火	大平東地区公民館	大平地域

議会を傍聴してみませんか。

9月定例会は、8月31日(金)開会予定です。
詳しい日程については、決定しだい、新聞折り込み等にてお知らせいたします。

詳しくは議会事務局まで 電話 21-2253

委員 小堀 良江
副委員長 福富 善明
委員 針谷 正夫
委員 須田 安介
委員 大島 光男
委員 天谷 鮎田
委員 武志 浩明

広報紙発行特別委員会
今定例会においては、議長・副議長の改選を始め、委員会等においても新たな構成となりました。
当委員会も新規委員5名を含む新たな構成となりましたが、より一層市民の皆様が、議会を身近に感じて頂けるよう、広報紙の発行を目指してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

議会のうごき

4月

- 5日 各会派代表者会議
- 11日 議員研究会
- 13日 議会広報紙発行特別委員会
- 16日 各会派代表者会議
- 17日 民生常任委員研究会
- 23日 議会広報紙発行特別委員会
- 24日 民生常任委員研究会
- 27日 議会改革検討委員会

5月

- 8日 政治倫理条例検討委員会
- 10日 各会派代表者会議
- 14日 議会運営委員会
- 15日 臨時議会
議会改革検討委員会
議会報告運営委員会
民生常任委員研究会
- 23日 議会運営委員会
- 24日 各会派代表者会議
- 29日 議員全員協議会

6月

- 1日 各会派代表者会議
議会運営委員会
本会議(初日)
議員全員協議会
- 5日 本会議(一般質問)
- 6日 本会議(一般質問)
- 7日 本会議(一般質問)
- 8日 本会議(一般質問)
- 11日 総務常任委員会
- 12日 民生常任委員会
民生常任委員研究会
- 13日 産業教育常任委員会
- 14日 建設常任委員会
- 19日 民生常任委員研究会
- 21日 本会議(最終日)
議員研究会
- 26日 議会広報紙発行特別委員会
- 27日 議員研究会
- 28日 政治倫理条例検討委員会